

URL: <http://www.nik.sal.tohoku.ac.jp/~tsigeto/gstra/>
作成: 田中重人 (講師) <tsigeto@nik.sal.tohoku.ac.jp>

比較現代日本論特論 I

2001.12.13

第 8 回「職域分離の実態」

1. 賃金格差の推移

あまり縮まっていない。

年齢別に見ると縮小がみられるが、やはり格差は大きい。

2. 性別賃金格差の説明

年齢・学歴・勤続年数・産業・職種などを統制して、性別の効果を見る
→およそ半分程度が性別の「純粋」な効果だといわれている。

3. 性別職域分離 occupational segregation by sex

垂直的—水平的

いろいろなレベル：産業・職種・仕事内容・場所....

3. 職種別の女性比率と賃金水準

- ・ 女性比率が高いほど賃金がひくい
- ・ 女性比率が高まると賃金が低くなる傾向

4. ホワイトカラーの職域分離

職種のレベルでは観察できない→仕事のレベルでの観察が必要

管理職への昇進の比率はおおきくちがう (部長相当職は 98%が男性)